

開会の ご挨拶



後山 尚久 先生

藍野学院短期大学 教授

- 1979年 大阪医科大学 卒業
1981年 同大学 産婦人科学 助手
1983年 国立島根医科大学 第一生化学 助手
1989年 米国オクラホマ州立大学 生化学・分子生物学 Physical Science II部門 教官
1993年 大阪医科大学 産婦人科学 講師
1996年 同大学 産婦人科学 助教授
2003年 大阪市立大学 女性病態学 非常勤講師
2004年 The Editorial Board of American Journal of Chinese Medicine
2006年 京都大学 漢方医学講義 講師
2006年 藍野学院短期大学 教授

東洋医学シンポジウムは、例年通り、日本東洋医学会学術総会のWelcome Seminarとしての役割を担っており、診療科の垣根を取り払った臨床各科のクロストークを通して、現代における漢方診療の確かな実力を実感していただくことを目的としています。

西洋医学を中心とした日常診療を行っておられる先生方に、本シンポジウムを通して漢方の目で患者さんを診ていただくことで、治療に難渋した患者さんに笑顔を取り戻すことができたり、あるいは驚くほどの治療成績を実感することで、漢方治療の素晴らしさを再認識していただきたいと願っています。

本日も5名のシンポジストの先生方に、それぞれの診療科独特的“治せる医療”的ノウハウをご紹介いただきます。さらに、峯 尚志先生にはコメンテーターとして漢方的な考え方についてのコメントをいただきます。

本シンポジウムが、先生方の明日からの日常診療にお役立ていただければ幸いです。